

第34回日本原生動物学会大会講演要旨

大会長：洲崎 敏伸

会 場：神戸市 スペースアルファ神戸

会 期：平成13年11月16日(金), 17日(土), 18日(日)

日 程：第一日 11月16日

10:00 ~ 受付開始
13:00 ~ ポスター展示開始
14:55 ~ 15:00 開 会
15:00 ~ 17:45 口頭発表 (1~10)
18:00 ~ 19:00 夕 食
19:00 ~ 21:00 ムービーセッション
21:00 ~ 若手の会

第二日 11月17日

9:00 ~ 11:50 シンポジウム
12:00 ~ 13:30 昼 食
13:30 ~ 14:00 ポスター発表 (P1~P11)
14:00 ~ 14:45 口頭発表 (11~13)
14:45 ~ 15:15 ポスター発表 (P12~P23)
15:15 ~ 16:30 ポスターセッション
16:30 ~ 17:30 総 会
17:30 ~ 18:00 奨励賞受賞者講演 (長澤秀行氏)
18:00 ~ 20:00 懇親会

第三日 11月18日

9:00 ~ 12:00 口頭発表 (14~23)
12:00 ~ 13:30 昼 食
13:30 ~ 15:00 口頭発表 (24~29) (閉会)

講 演 目 次

特別講演

Food acquisition, food ingestion and food digestion by protists: spotlight on old, but still present-day problems of unicellular organisms - Stimulations for studies in search of answers to general protozoological and cell biological questions Prof. Dr. Klaus Hausmann (Free University of Berlin, Germany)

シンポジウム講演

- 1) Extrusomes in predator-prey interaction - particularly the role of toxic extrusomes in the interaction in ciliates ○三宅章雄 (伊・カメリーノ大)
- 2) Structure and function of extrusomes in Heliozoa - prey adhesion and uptake by actinophryid and centrohelid heliozoans ○坂口美亜子 (ベルリン自由大・動物学研究所)
- 3) Trichocysts, the defensive extrusomes against predatory protists ○春本晃江 (奈良女子大学・理・生物)
- 4) Calcium dynamics in *Paramecium-Didinium* system ○岩楯好昭 (徳島大・理・生物)

一般講演 (口頭発表)

- 1) 長いオートガミー未熟期をもつ突然変異体の分離 ○小森理絵, 高木由臣 (奈良女子大学・理・生物科学)
- 2) ゾウリムシの種間核移植において他種の移植された大核に対する受容細胞の大核の影響 ○山田貴之, 見上一幸 (宮城教育大・EEC)
- 3) ゾウリムシの接合中に起こる核アポトーシス ○多賀郁乃¹, 八島洋一², 吉田恭子³, 山本博章³, 見上一幸¹
(¹宮城教育大・EEC, ²岩手医大・教養・生物, ³東北大・理・生物)
- 4) pap-ヒストンH4遺伝子領域およびGAPDH遺伝子領域からみたゾウリムシ大核DNA ○小原真司¹, 渡辺 彊², 岩滝仁範¹, 見上一幸³
(¹筑波大・生物科学系, ²東北大・生命科学, ³宮城教育大・EEC)
- 5) *Amoeba proteus* における細胞膜とアクチン繊維の相互作用 ○園部誠司, 川勝智生, 藤井 誠, 新免輝男, 八木澤仁 (姫路工大・理・生命)
- 6) *Vorticella* スパズミンのX線小角散乱実験と流体力学的な考察 ○加藤 亮¹, 上村丈二¹, ハワード ヴェージー ジュニア², 浅井 博¹
(¹早稲田大・理工, ²イリノイ大)
- 7) ゾウリムシの食胞形成: 繊毛及び食物粒子の役割 ○石田正樹¹, リチャードアレン², アグネス フォック³
(¹三重大・医・生理1, ²ハワイ大・PBRC, ³ハワイ大・バイオロジープログラム)
- 8) *Zoothamnium arbuscula* のスパズミン遺伝子の単離 ○板橋岳志¹, 見上一幸², 浅井 博¹ (¹早稲田大学・理工, ²宮城教育大学・EEC)
- 9) 太陽虫 *Actinophrys sol* におけるCa²⁺依存性収縮系のin vitro解析 ○有川幹彦, 洲崎敏伸 (神戸大・理・生物)
- 10) 浮遊性カイアシ類に付着する隔口類 (繊毛虫) について ○洞 真理子¹, 大塚 攻¹, 洲崎敏伸²
(¹広島大・生物生産・附属水産実験所, ²神戸大・理・生物)
- 11) ゾウリムシの繊毛逆転時のカルシウム上昇箇所の検討

- ○岩楯好昭 (徳島大・総合科学)
- 12) 浜名湖から分離した菌様原生生物ラビリンチュラ類SEK-106株の系統と分類
..... ○横山林香, 本多大輔 (甲南大・理工・生物)
- 13) テトラヒメナの収縮環形成機構に関わるp85はCa²⁺/カルモデュリン依存的にG-アクチンと結合する..... ○権田幸祐, 沼田 治 (筑波大・生物科学)
- 14) カバの前胃に生息する *Parentodinium* 属繊毛虫の形態学的観察
..... ○宮崎 裕¹, 伊藤 章², 池 和憲¹, 森田達志¹, 今井壮一¹
(¹日獣大・寄生虫, ²鹿児島県与論町役場・動物医療センター)
- 15) 核内共生細菌 *Holospora obtusa* は感染初期過程でGroELを細胞外膜表面に露出させる
..... ○百武晃宏, 藤島政博 (山口大・理・生物)
- 16) テトラヒメナの多機能蛋白質: クエン酸合成酵素とペプチド伸長因子1α
..... ○沼田 治, 小島弘子, 倉沢靖博, 小松美恵, 上野裕則 (筑波大学・生物科学系)
- 17) クリプトスポリジウムの遺伝子型別
○八木田健司¹, 泉山信司¹, 亀岡洋祐², 橘 裕司³, 増田剛太⁴, 井関基弘⁵, 黒木俊郎⁶, 遠藤卓郎¹ (¹国立感染研・寄生動物, ²国立感染研・遺伝子資源, ³東海大・医・感染症学, ⁴都立清瀬小児病院, ⁵金沢大・医・寄生虫学, ⁶神奈川衛研・細菌病理)
- 18) *Naegleria fowleri* と *N. lovaniensis* のタンパク質の2D-PAGEによる比較
..... ○小村麻子, 八木田健司, 泉山信司, 遠藤卓郎 (国立感染症研究所・寄生動物部)
- 19) Cytochalasin Dによる *Entamoeba invadens* の脱囊促進
..... ○牧岡朝夫¹, 熊谷正広¹, 大友弘士¹, 小林正規², 竹内 勤²
(¹慈恵医大・熱帯医学, ²慶大・医・熱帯医学・寄生虫学)
- 20) ボウフラから発見されたテトラヒメナ科の繊毛虫1種について
..... ○高橋忠夫¹, 三好孝和¹, 鈴木武雄², 上瀧良一³, 砂原俊彦⁴
(¹西九大・生物, ²日本電子(株), ³日本電子ハイテック(株), ⁴佐賀医大・微生物)
- 21) *Trypanosoma congolense* 種特異的抗原のクローニング
..... ○井上 昇, ウイリアム ヴィトラ, 細井美佳, 長澤秀行, 鈴木直義
(帯広畜産大学・原虫病研究センター)
- 22) *Blastocystis hominis* の遺伝的変異について
○金田良雅¹, 堀木紀行¹, 程訓佳², 橘 裕司¹ (¹東海大・医・感染症, ²国立三重中央病院・内科)
- 23) シロアリ共生鞭毛虫 *Pseudotriconympha* のSSUrRNA 遺伝子による系統解析
..... ○北出 理, 鹿糠美紀子, 廣島顕治 (茨城大・理)
- 24) リボソームP0サブユニット蛋白質発現に対するdsRNAiがトリパノソーマ増殖に及ぼす影響
..... ○宮崎綾子, 井上 昇, 長澤秀行, 鈴木直義 (帯広畜産大学・原虫病研究センター)
- 25) カエルから分離したブラストシスチス株のゲノムの多様性を調べるためのPCRプライマーの構築..... ○吉川尚男, 大西千尋 (奈良女子大学・理・生物)
- 26) 土壌原生動物群集の比較. I. ○島野智之¹, 山初和美¹, 橋本知義², 盛下 勇³, 高橋忠夫⁴
(¹東北農研・畑地利用, ²九州農研・環境資源, ³土木研, ⁴西九州大・生物)

- 27) 小核における遺伝子増幅がヒメゾウリムシの行動突然変異体の非メンデル遺伝を引き起こす
 ○松田厚志, 高橋三保子 (筑波大・生物)
- 28) ブレファリズマにおけるガモン1遺伝子の発現
 ○杉浦真由美, 春本晃江 (奈良女大・理・生物科学)
- 29) 繊毛虫 *Spirostomum* の収縮環様構造について
 ○石田秀樹, 栗林千春 (島根大・生物・生物)

一般講演 (ポスター発表)

- P1) ゾウリムシにおけるクローナルエイジングに伴うテロメア伸長の規則性
 ○太田 聡 (石巻専修大学理工学研究科生物環境科学専攻)
- P2) ブレファリズミンの毒性の強さと特性について
 ○寺嶋昌代¹, 春本晃江² (¹東海女子短大, ²奈良女子大・理・生物)
- P3) モノクローナル抗体によるゾウリムシ *Paramecium caudatum* の大核内共生リケッチアの検出
 ○道羅英夫 (静岡大学遺伝子実験施設)
- P4) 水質指標としての繊毛虫相調査 ○長田典子¹, 後藤紀子¹, 松坂理夫²
 (¹熊本大・自然科学・自然システム, ²熊本大・理・環境理学)
- P5) *Glaucoma* sp. とされる繊毛虫の無菌培養系の確立
 ○松坂理夫¹, 長田典子², 後藤紀子²
 (¹熊本大・理・環境理学, ²熊本大・自然科学・自然システム)
- P6) *Chilomonas paramecium* の種内多様性について
 ○月井雄二 (法政大学自然科学センター)
- P7) スパズモネームのチロシンとシステイン残基の解析
 ・ ○方 杰¹, 張 蓓², 陳 寧³, 浅井 博¹ (¹早稲田大学・理工, ²南開大学, ³天津軽工業大学)
- P8) ゾウリムシの接合後における旧大核の性的若返り
 木村直美, ○見上一幸 (宮城教育大学・EEC)
- P9) ゾウリムシ *Paramecium caudatum* の接合時に退化する繊毛量
 ○渡辺 彊, 正木貴子 (東北大・生命科学)
- P10) 酸性湖に生息する太陽虫の形態観察と捕食について ○坂口美亜子¹, Bell, Elanor M.²
 (¹ベルリン自由大・動物学研究所, ²ポツダム大・生化学/生物学研究所)
- P11) ゾウリムシの温度感覚機構: 温度応答阻害物質について
 ○大森有路, 中岡保夫 (大阪大・基礎工・生物工学)
- P12) *Paramecium bursaria* と *Chlorella* との無菌条件下での再共生実験
 ○大村現, 洲崎敏伸 (神戸大・理・生物)
- P13) 太陽虫 *Raphidiophrys contractilis* の持つ毒性物質の繊毛運動阻害効果
 ○カーン モスタファ, 洲崎敏伸 (神戸大・理・生物)
- P14) 接合中のテトラヒメナにおける核退化とカスパーゼの活性

- ○小林 孝 (金沢大・理・生物)
- P15) ミドリゾウリムシの細胞内共生システムを制御する遺伝子の探索
 ○角野貴志¹, 田中みほ¹, 小阪敏和¹, 細谷浩史^{1,2}
 (¹広島大・院理・生物科学, ²さきがけ研究21・JST)
- P16) *Macula adherens* の構造に依存する *Trypanosoma evansi* の合胞体形成
 ○比留木武雄 (島根医大・医・微生物免疫)
- P17) ミドリゾウリムシの酸化的環境ストレスに対する耐性
 ○河野智謙¹, 小阪敏和¹, 細谷浩史^{1,2}
 (¹広島大・院理・生物科学, ²さきがけ研究21・JST)
- P18) 無色ユーグレナ *Peranema* の有するCa²⁺依存性収縮繊維の運動
 ○齊藤育, 洲崎敏伸 (神戸大・理・生物)
- P19) タイヨウチュウ *Actinophrys sol* の軸足表面の運動性
 ○畠山真由子, 洲崎敏伸 (神戸大・理・生物)
- P20) hsp60, hsp70遺伝子を分子指標とした *Paramecium* 属の系統関係
 ○堀 学, 富川 泉, 藤島政博 (山口大・理・生物)
- P21) 繊毛虫 *Euplotes aediculatus* の大核におけるCa²⁺依存性収縮系の解析
 ○桃川尚子, 有川幹彦, 洲崎敏伸 (神戸大・理・生物)
- P22) MAPキナーゼキナーゼ阻害剤 (U0126) のゾウリムシへの影響
 ○和田 智, 渡辺 彊 (東北大・院理・生物)
- P23) *Chattonella verruculosa* (ラフィド藻綱) は珪酸鞭毛虫類とペディネラ類に近縁であった
 ○深谷幸子¹, 本多大輔¹, 左子芳彦² (¹甲南大・理工・生物, ²京大・院・農)